

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田 忠宏



平塚MAC役員会

新たなMACの活動

6月に役員会を再開

平塚市の公共施設の利用制限があり、平塚MACもその活動に制約を受けました。しかし政府の緊急事態宣言の解除を受け、市民活動センターをはじめとする施設の利用が可能となりました。6月20日に久しぶりに役員会を開催しました。この間と今後について、宮武祥次郎副会長からのメッセージを紹介します。

2月初めに横浜港に停泊したダイヤモンド・プリンセス号で、新型コロナウイルス感染者が出たニュースの時点では、これほどの大災害(??)に発展するとは思っていませんでした。

そしてその後の政府の緊急事態宣言により、平塚市のそれぞれの施設利用にも影響が出、市民活動センター、中央公民館などの利用制限によりMACの活動も次々と中止に追い込まれました。

役員会も市民活動センターの利用制限により、3月は駅近くの喫茶店で周囲

を気にしながらの定時総会資料のまとめを行い、4月にはファミリーレストラン

で20周年記念誌の配布担当と年会費徴収担当を決めました。その後役員と一部飛翔編集員の協力を得て、会員の皆様を訪問して記念誌を手渡ししました。その間の役員間のコミュニケーションはメールを中心としてやり取りしながらの意思決定でした。

4月16日の定時総会開催を取りやめ、書面による議決という平塚MAC始めて以来、初のこととなりました。

件付きであるものの再開されました。そこでやっと6月20日に4ヶ月振りに役員会が開催できました。

しかしながら、平塚MACの各部会の活動についてはまだまだ油断がならず、今後の状況を見ながらの活動となります。各部会の今後の活動についてはそれぞれの世話人と連携してください。

暫くの間活動ができないう部会がありますが、会員の皆様のご協力とご理解をよろしくお願いいたします。そして新しい生活様式を取り入れながら元気で過ごしてください。

平塚MAC20周年記念誌

記念の年に輝く発刊

会員からの寄稿

20周年記念誌の発行について、実行委員からの寄稿を第232号で紹介しましたが、今回は会員の方から頂いた感想の一部を紹介します。

M A C 30 周年の門出を祝う

「平塚MAC20周年記念誌」を新型コロナウイルスが猛威振るうなか、宅配した

開し、ご尽力されたパイオニアに改めて敬意を表しました。



後半の会員の所感文42編の中には、バラが咲き香る南口広場(右写真)実現までのながい道のり、湘南ひらつか七夕まつり竹飾りの作業場の融和の様子などや、男の講座が終わってからのActive-lifeに魅せられ入会し、交流を楽しむ名文に胸うたれながら、途中で逝かれた会員との会話を思い出し、ご冥福を祈りました。

さらに、MACの元気の源もとは、機関紙の編集員の飛翔力にあったと思うに至った。小生も飛翔第10号(平成14年10月発行)の会員往来欄の新人9人のひとりとして紹介いただいたから、月ごとに絆がこちよくなり、改めて深く感謝いたし

ます。

当面のスケジュール
8月7日、14日、21日、28日(金) 囲碁を楽しむ会
8月24日(月) パークゴルフの会
注意:まだまだコロナ感染拡大の予断が許せません。活動予定については、各世話人に確認願います。

平塚MACの30周年の門出を祝い、未来志向の気持ちをかきこめ、次の平塚市民憲章を声高らかに読み上げます。

(主文)

・わたくしたちは、自然を愛し、秩序をまもり、うるおいのある心を育てます。

・わたくしたちは、心身を鍛え、仕事に励み、明るい家庭をきずきます。

・わたくしたちは、地域の行事にすすんで参加し、友愛の輪を広げます。

・わたくしたちは、心を合わせ、安全なまち、豊かなまちをつくります。

・わたくしたちは、教養を高め、文化をはぐくみ、世界に目を開きます。

伊藤 孔三 記
(裏面に続く)

MACの立ち上げから

20年を巡る回顧の走馬燈

MACの20年史、頁をめくり乍ら写真、記事、記録を見て感無量です。

想えばMACを皆で立ち上げて、親睦の輪を作る為に、在職中の会社などの保養所を利用しては多いに友好を深めた事などが、走馬燈のように回顧されて、又、その友人達も徐々に減ってゆき一抹の寂しさも一入(ひとしお)です。

この冊子の作成に携って

下さった諸氏に、本当によくござい、紆余曲折にめげず纏めて下さった事を深く深く感謝とお礼を申し上げます。次第です。

30年史は、あの世で読めるのかと、漠然とし乍らデイスに通過しています。MACの方々に感謝しつつ、あと幾許かの余生を過ごさせて頂きます。

謝々々
渡辺 範夫 記

MACを舞台に

大いに羽ばたいて下さい

「平塚MAC20周年記念誌」を読ませて頂いて感じたことは、多少の年齢差はあっても、やはり同じ年代を生きてきた人達であることを痛感しました。

それぞれをいいか分からなかつた筈です。

会社人間或いは猛烈社員だった時代、24時間戦えまさか？なんていうコミーションが流行した時代ですから、会社或いは仕事以外のことはほとんど眼に入らなかったのです。ですから、定年を迎えて、皆さん、それ

余生を送りたいという考えの持ち主で、まだまだ一花咲かせたいと、思っいらっしやる色気(いい意味での)のある方々なのです。

濡れ落ち葉どころか、第二の青春の心の持ち主なんだと思います。生きていくうちに、何かを残したい、

生きた証を残したいと思っているに違いありません。どうぞこのMACを舞台に、大いに羽ばたいて下さい。

い。悔いのない、おわらかな人生を送って下さい。男の講座一期生
明神 健児 記

会員以外の皆様にお届け

寄せられたお礼の言葉

20周年記念誌は会員以外に市民活動センター、平塚市男女共同参画課、中央公民館や退会会員・お世話になつて居る皆様にもお届けさせて頂きました。お読みいただいた皆様からのお礼の言葉を紹介させていただきます。ありがとうございます。

楽しい思い出を作ってくれた

平塚MACに感謝

令和2年3月退会 佐川恒雄さん

退会した私にまで立派な記念誌を、わざわざ届けて頂き、有難く、厚く御礼申し上げます。本当に驚き喜んでいきます。

早速こちらこちらを読みました。あの時こんなことが有ったな、この時に参加して楽しかったなとか思い出しながら懐かしく拝見しました。

その後少し調べてみましたら、私は2003年3月31日に退職し、以前に記し

した。今後の会の益々のご発展を祈念しつつ、取り急

20年の歴史と活動を

楽しく拝見致しました

料理を楽しむ会講師 滝口千賀子さん

記念誌ありがとうございます。御会の20年の歴史

と活動、楽しく拝見致しました。

新型コロナウイルス感染防止のため、今はじっと耐えるしかありません。

又、皆様と楽しくお料理出来る日を楽しみにしております。

どうぞご安全にお過ごし下さいませ。

部会活動のお知らせ

MACの部会活動も6月15日からパークゴルフの会、7月3日から囲碁を楽しむ会が活動を再開しました。9月からはパソコン勉強会、MACうた仲間も活動開始予定です。早い段階で各部会がフル活動できる日を楽しみにしています。

MAC役員会

寄稿のお願い

新型コロナウイルス感染拡大の防止から、WITH コロナ・新生活様式へと意識が変わっています。MAC会員のコロナに対する生活の知恵、経験談をお聞かせください。寄稿をお待ちいたします。

寄稿文送り先:「飛翔」編集員 山本和昭